

## 解説 1

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- すべての英文は、動詞の性質によって、5つの文型に分類できるとされる。
- 英文を構成するのは、S (主語)、V (動詞)、O (目的語)、C (補語) の4つの〈文の要素〉。  
文の要素は、品詞的には、Sは名詞、Vは動詞、Oは名詞、Cは形容詞か名詞になる。
- 副詞 (M) は、重要ではあるが、文の要素には含まれない。
- 第1文型 (SV) : 動詞は、補語も目的語もとらない
- (S) A man (V) went (M) into a house. 「男がある家の中に入った。」  
※ into a house は〈場所〉を表す副詞句で、文の要素ではない。
- 第2文型 (SVC) : 動詞は、補語を1つとる。内容的に〈主語=補語 (S=C)〉が成立する
- (S) A girl (V) remained (C) silent. 「少女は黙ったままだった。」 ※このCは形容詞。
- 第3文型 (SVO) : 動詞は、目的語を1つとる
- (S) He (V) had (O) a gun. 「彼は銃を持っていた。」
- 第4文型 (SVO<sub>1</sub>O<sub>2</sub>) : 動詞は、目的語2つ (間接目的語 O<sub>1</sub>・直接目的語 O<sub>2</sub>) をとる
- (S) He (V) gave (O) her (O) the gun. 「彼は彼女にその銃を渡した。」
- 第5文型 (SVOC) : 動詞は、目的語と補語を1つずつとる。目的語=補語 (O=C) が成立する
- (S) He (V) called (O) her (C) Juliana. 「彼は彼女をジュリアナと呼んだ。」 ※このCは名詞。
- 【重要】 文型学習の目的は、動詞の性質を、5つの類型によって理解すること  
動詞は、上の5つのように〈文〉の動詞 (述語動詞という) になる一方、  
to 不定詞・動名詞・分詞などの〈準動詞〉や、文の要素ではない〈副詞の一部〉にもなる。  
準動詞や副詞の一部になっても、動詞が持つ意味や性質は変わらない。  
ex. □ (S) You (V) have (O) the right to remain silent. 「あなたには黙秘権がある。」  
※文全体は SVO の第3文型。  
一方、目的語 (O) は、中心となる名詞 the right 「権利」を  
to 不定詞 (形容詞的用法) 以降が修飾する名詞句。  
この to 不定詞の動詞 remain は、述語動詞と同様、  
補語 (C : 形容詞 silent) をとる第2文型の動詞として機能している。

## A 演習 1 : 基本問題

動詞に続く、文の要素としての品詞 (あるいは副詞) を答え、全体を訳しなさい。

1. He kept quiet. ( )  
「 \_\_\_\_\_ 」
2. She went to see a doctor. ( )  
「 \_\_\_\_\_ 」
3. I want to take a shower. ( )  
「 \_\_\_\_\_ 」

## 演習 1 : 解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. 形容詞「彼は静かにしていた。」 ※動詞 keep は、「保つ」の意味では第2文型として補語をとり、S=Cが成立する。ここでは内容的に He = quiet が成立する。なお、例えば keep a pet 「ペットを飼う」(SVO の第3文型)、keep it a secret 「それを秘密にしておく」(SVOC の第5文型) など、keep はさまざまな文型で使う。
2. 副詞「彼女は医者に診てもらいに行った。」 ※動詞 go は、「行く」の意味では第1文型として、目的語も補語もとらない。よって、to see 以降は副詞 (to 不定詞の副詞的用法「~するために」)。see a doctor 「医者に診てもらおう」。
3. 名詞「私はシャワーを浴びたい。」 ※動詞 want 「ほしい」は、I want this bag. 「このバッグがほしい。」のように、第3文型として目的語をとる。to 不定詞が続くことが多いが、この to 不定詞は名詞的用法「~すること (を欲する)」。

## B 演習 2 : 基本問題

動詞に続く、文の要素としての品詞（あるいは副詞）を答え、全体を訳しなさい。

1. The family lives near the river. ( )  
「 \_\_\_\_\_ 」
2. I stopped drinking sodas. ( )  
「 \_\_\_\_\_ 」
3. My hobby is taking pictures. ( )  
「 \_\_\_\_\_ 」
4. She wears contact lenses. ( )  
「 \_\_\_\_\_ 」
5. Please call us when you want to sell a piano. ( )  
「 \_\_\_\_\_ 」
6. Your cellphone has a lot of private information on it. ( )  
「 \_\_\_\_\_ 」
7. I found the part-time job interesting. (品詞は2つ答えよ。) ( )  
「 \_\_\_\_\_ 」
8. My mother showed me her old photos. (品詞は2つ答えよ。) ( )  
「 \_\_\_\_\_ 」

### 演習 2 : 解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. 副詞「その家族は川のそばに住んでいる。」 ※ live 「住む、生きる」は第 1 文型の動詞で、ふつう補語も目的語もとらない。near the river は〈場所〉を表す副詞句。
2. 名詞「私は炭酸飲料（ソーダ）を飲むのをやめた。」 ※ stop は、「止まる」の意味では第 1 文型、「やめる」の意味では目的語をとる第 3 文型の動詞で、ここでは後者。目的語は必ず名詞なので、drinking は動名詞「飲むこと」の意味。なお、動名詞 drinking は名詞 sodas を目的語にとっている。また、stop は to 不定詞を目的語にとらない。
3. 名詞「私の趣味は写真を撮ることだ。」 ※ be 動詞は補語をとる第 2 文型の典型的な動詞。補語は名詞か形容詞だが、ここでは動名詞で「写真を撮ること」。なお、動名詞 taking は名詞 pictures を目的語にとっている。
4. 名詞「彼女はコンタクトレンズをしている。」 ※ 動詞 wear 「身につけている」は目的語をとる第 3 文型の動詞。wear は「着る」に限らず、化粧品やひげなど身につけるもの全般を目的語にとる。
5. 名詞「ピアノを売りたいときには私たちにお電話ください。」 ※ 動詞 sell は、「売る」の意味では第 3 文型で目的語をとる、「売れる」の意味では第 1 文型で目的語をとらない。ex. This book sells well. 「この本はよく売れる。」(well は〈程度〉を表す副詞)。なお、述語動詞 call 「電話する」は目的語 1 つ (us) をとるので、この文全体は第 3 文型。when 以降は〈時〉を表す副詞節。
6. 名詞「携帯電話には多くの個人情報が入っている。」 ※ have は、「持っている」の意味では目的語をとる第 3 文型の動詞。目的語は (a lot of private) information 「(多くの私的な) 情報」。on it は〈場所〉を表す副詞句。
7. 名詞と形容詞「私は、そのアルバイトが興味深いと気づいた (→そのアルバイトは興味深かった)。」 ※ find は第 5 文型をとる動詞 (find O C 「O が C とわかる」) で、あとに目的語 (名詞)、補語 (名詞か形容詞) が続く。ここでは補語は形容詞 interesting。
8. 名詞と名詞「母は私に、自分の古い写真を見せてくれた。」 ※ show は、あとに 2 つの目的語が続く第 4 文型をとれる動詞 (show O<sub>1</sub> O<sub>2</sub> 「O<sub>1</sub> に O<sub>2</sub> を見せる」)。

年 組 番 氏名

A /3

検印

実施日 年 月 日

B /8